

2号機 原子炉格納容器内窒素封入の停止について

TEPCO

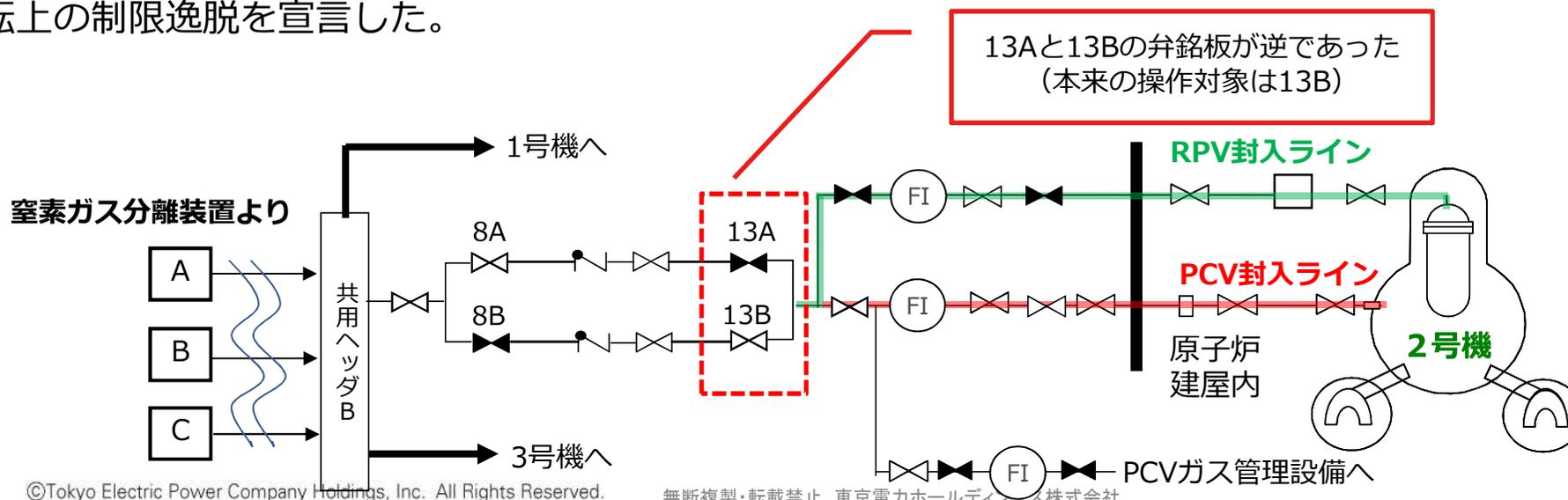
2 0 1 9 年 8 月 7 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

1. 事象の概要

1～3号機 窒素封入設備信頼性向上対策工事において、2号機の新設窒素ラインの敷設作業が完了したことから、既設窒素封入ラインとの接続作業を実施するため、**実施計画Ⅲ第1編第32条を適用**し、作業を実施した。

作業対象の系統隔離を実施中に2号機格納容器内窒素封入が停止した。原因は、**操作対象弁の弁銘板に取付間違いがあった**ため、意図しない窒素封入ラインが隔離されたためである。その後、弁状態を復旧し、窒素封入が再開されたことを確認した。なお、これによる格納容器内のパラメータ（水素濃度、圧力、温度等）の変動はないことを確認している。

2号機格納容器内窒素封入の一時停止は本作業の計画外停止であったため、第32条における「必要な安全措置」（新設窒素封入ラインまたは他の既設窒素封入ラインにて窒素封入が可能な状態にある場合は、原子炉格納容器への窒素封入を実施する）を満足しないことから、運転上の制限逸脱を宣言した。

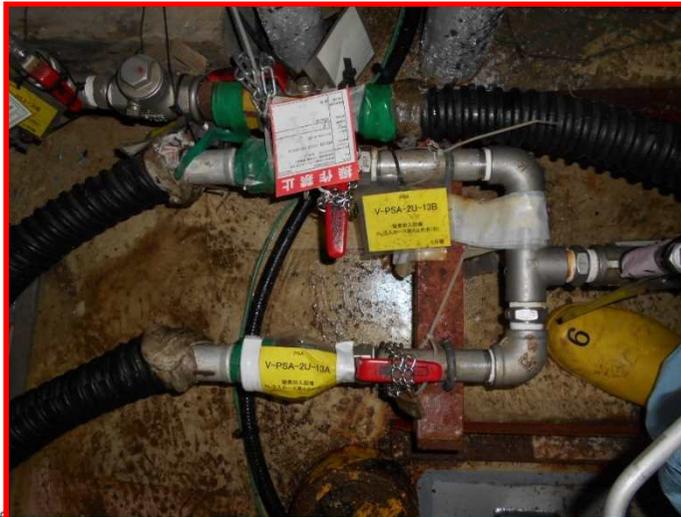
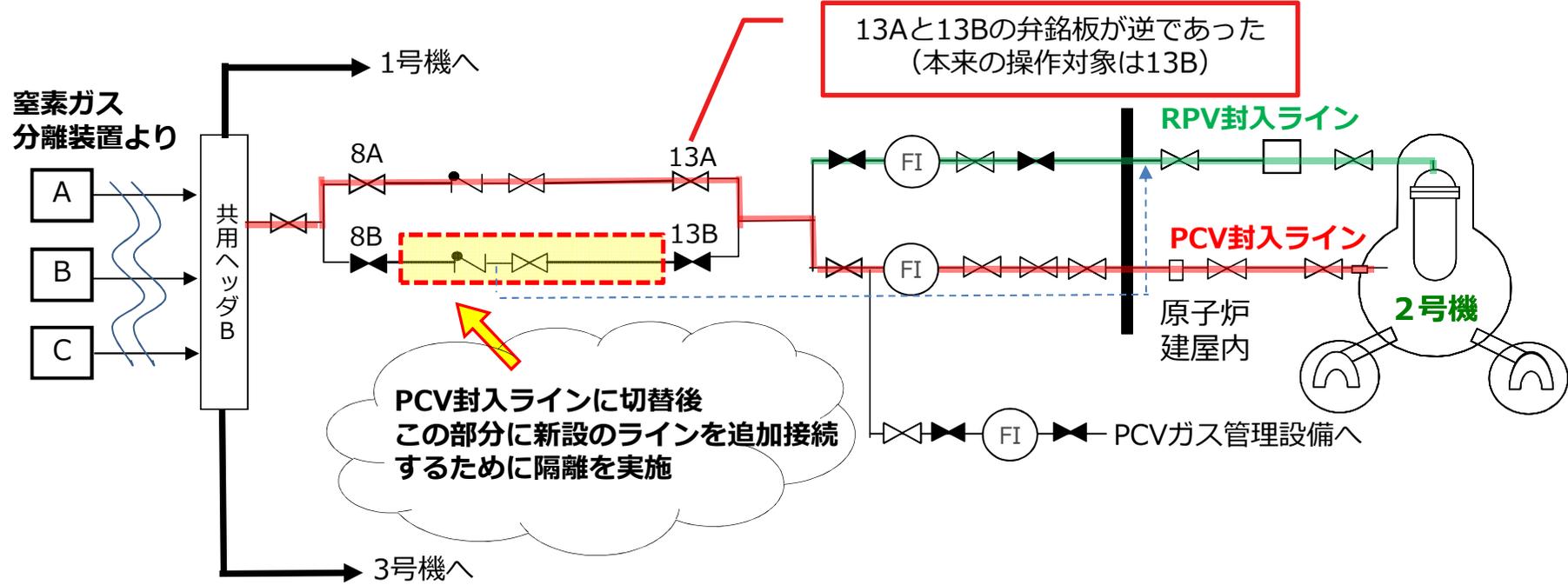


2. 時系列

10:08	実施計画Ⅲ第32条1項 適用 (関連条文：第25条 格納容器内の不活性雰囲気維持機能)
10:19/10:20	2u PCV窒素封入ライン封入開始
10:26/10:29	2u RPV窒素封入ライン封入停止
10:31	2u 窒素封入B系ライン隔離開始
10:40	2u RPV/PCV窒素封入ライン元弁(V-PSA-2U-13A※)全閉
10:50	2u RPV/PCV窒素封入ライン元弁(V-PSA-2U-8B)全閉
10:50	2u PCV窒素封入流量低下確認
11:18	2u RPV/PCV窒素封入ライン元弁(V-PSA-2U-8B)全開
11:18	2u 窒素封入流量上昇確認
11:51	LCO逸脱 宣言・復帰

※V-PSA-2U-13Bを全閉とするところが、13Aと13Bの弁銘板が逆であったため、13Aを全閉としてしまった。

3. 作業内容



4. 原因と対策及び今後の対応

【今後の対応】

- 窒素封入設備の弁を対象として、図面と現場弁銘板の照合を行う。調査方法は検討中。
- 新設RPV封入ラインの通気試験の再開については、実施時期調整中。

【原因と対策】

- 本事象の原因と対策については検討中。
- その他設備については、本事象の原因を踏まえ必要に応じ、再発防止策を検討・実施する。